

標 題 : Influence of the Mediterranean Diet on the Risk of Cancers of the Upper Aerodigestive Tract
上気道消化管の癌のリスクに対する地中海食事の影響

著 者 : C. Bosetti, et al. (イタリア ミラノ Mario Negri 薬理学研究所)

掲 載 誌 : Cancer Epidemiol. Biomarkars Prev. 12: 1091-1094 (2003)

要 旨 :

上気道消化管の癌のリスクに対して地中海食事が有益な役割を果たすという仮説を、イタリアで1992年と2000年の間に実施された3件の症例-対照研究で評価した。

最初の研究は、組織学的に確認された口腔と咽頭の癌発症例598件および急性の非腫瘍性疾患の症例で同じ病院のネットワークに入院した病院対照1491件を収録した。

2番目は、食道の扁平上皮癌の被験者304件および対照743件を収録した。

3番目は、喉頭癌の症例460件および対照1088件を収録した。

地中海食事の主な8つの特徴を集約するスコアを使用した。

このスコア値の上昇について、オッズ比および対応する95%信頼区間(CI)を、年齢、性別、研究センター、教育の年数、喫煙、BMI、および総エネルギー摂取を調整した無条件回帰モデルを使用して推計した。

全ての癌を考察すると、地中海食事スコアの上昇でリスクの低下が見られた：地中海食事の特徴が6以上の被験者を特徴が3より少ない人と比較したオッズ比は、口腔と咽頭で0.40(95%CI、0.26-0.62)、食道で0.26(95%CI、0.13-0.51)そして喉頭癌では0.23 (95%CI、0.13-0.40)であった。

これらの腫瘍で確認された主な危険因子の階層で、全ての推計は一致した。

地中海食事の複数の特徴を含む事前に定義した栄養パターンは上気道消化管の癌のリスクに良い影響するとの証拠を、この研究が提供する。
